

業務部速報

No. 09

発行 12. 8. 30

JR東労組 業務部

申1号

第28回定期大会発言に基づく申し入れ2回目の交渉を行う!

その2

第5項 各支社別グループ会社の労働条件を向上について

組合の主張

会社の回答



エルダー社員が労働条件や労働環境が悪いことを理由辞めていく状況について、本社の認識は?

契約期間の途中で辞めることは、様々な事情があり辞めている。労働条件が悪くて退職しているという認識はない。

実際に働いている人、辞める人の話を聞いて要求していることを受け止めないのか。

エルダー社員といっても大事な社員だ。エルダー社員が抜けると勤務が回らない。環境改善などは、歩みが遅いができる範囲内でおこなっている。

GV2020にもあるように、グループ全体の労働条件が向上するべきであるが、どのように考えているのか。

グループ会社も1つの法人である。しかし、親会社だからといってグループ会社に労働条件を上げろとは言えない。

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」は、グループ会社の労働条件を上げるということを前提に、妥結してきた。現在、地方交渉でも議論が対立しているが、確認している通り、労働条件は向上することではないか。

施策を実施し、清掃より単価の高い業務を委託することにより、グループ会社は潤うので、それをもとに、労働条件を上げるように打合せで話している。労働条件向上は施策のメインの目的だ。

現時点においても、JRとして設備改善できることはあるのではないかと。ムカデが出る休憩室で休んでいる所もあり、環境を改善するべきだ!

JRの設備を委託にあわせて使うところもあるので、必要な整備は行っていく。

第6項 2014年、北陸新幹線金沢延伸について

開業まで2年もないが、列車本数など具体的に示せることは!

様々な分野で開業に向けて議論しているが、現段階で示せるものはない。

並行在来線について第3セクター化される現実の中で、現場組合員は不安を抱えている。2014年と時間が無い中で、検討していることを示すべきだ!

並行在来線の関係は整備新幹線のルールだ。区間としては長野～直江津間となる。必要な要員配置など、発表できる段階ではない。

北陸新幹線の開業は、JR東日本の経営にとって重要な問題だ! 労使で議論を深めるためにも、前広に情報を示すべきだ! 組合員は不安を抱えている。不安解消のために前広な議論が必要だ!

様々な部署で検討している。できる限り前広に情報を、本部-本社、地本-支社に伝える。

前広に情報を示し、労使で誠意を持って議論することを確認!

その3へ続く